

# あおもり漁連

代表理事会長 植村正治 書

## 資源有限漁業無限

No.  
127

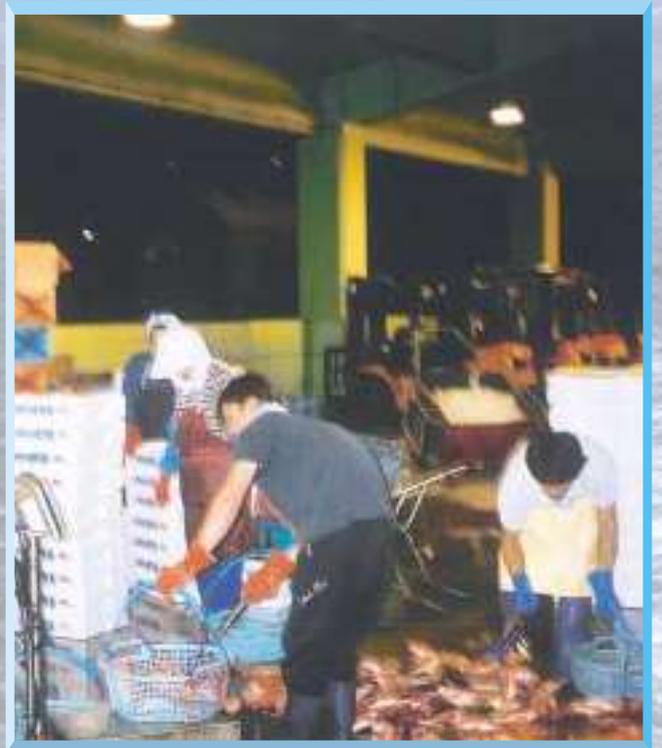


下前漁協直営のキャニオンハウス



## CONTENTS

青森県漁業協同組合連合会通常総会開催	1
青森県漁協専務参事会通常総会・研修会開催	4
青森県漁連人事異動	4
深浦千畳敷海岸に戦闘機墜落	5
漁業補償早期解決に向けて陳情	6
漁業振興対策に係る陳情	7
「ホタテの日」記念イベント開催	8
主な水産に関する動き(4～6月)	9
県内漁協紹介(下前漁協)	10
エンドページ(十三湖大和しじみ)	11



盛漁期を向かえた下前漁協メバル刺網漁

# 2002 8

## 21世紀は漁村の時代

# 平成13年度(第53回事業年度) 青森県漁連通常総会 開催

平成14年6月13日、青森県水産ビル7階大会議室において、青森県漁連平成13年度(第53回事業年度)通常総会が開催され、平成13年度決算、平成14年度事業計画、役員を選任など9議案を審議、いずれも原案どおり承認決定されました。

通常総会は、64会員中62会員が出席のほか、来賓・関係者が集まるなかで開催されました。開催にあたり、植村正治県漁連会長の挨拶(要旨は別掲参照)があり、続いて来賓の木村守男青森県知事より祝辞があり、議事に入りました。

議事は、川端昭治尻尻漁協組合長を議長に選出し、第一号議案の平成13年度収支決算を始めとする9議案が上程され、いずれも原案どおり承認決定されました。また、役員を選任については、次のとおり承認されました。

代表理事	植村正治(員外理事)
副会長	西崎義三(舩作漁協組合長)
専務理事	後藤亮丞(員外理事)
常務理事	久保澤正(員外理事)
理事	新田常雄(佐井村漁協組合長)
理事	木村亀治(むつ市漁協組合長)
理事	手間本政信(石持漁協組合長)
理事	中村岩太郎(青森市漁協組合長)
理事	熊谷拓治(八戸漁連会長)
代表監事	立石政男(脇野沢村漁協組合長)
監事	角田順一(下前漁協組合長)
監事	赤石憲二(泊漁協組合長)

## 平成14年度重点推進事項

1. 漁協経営基盤強化対策推進
2. 漁業生産基盤強化、増養殖事業等の推進
3. ほたて、いが、さけ、ひらめ、その他漁業の安定生産のための諸対策
4. 水産物付加価値向上、加工新製品開発及び衛生管理への取組
5. 漁業経営の安定・向上のための諸活動
6. 水産物、水産製品の消費拡大のための諸対策
7. 漁業用石油類、資材の安定供給
8. 漁業環境保全対策
9. その他の諸活動



総会風景

# 植村会長挨拶要旨

平成13年度は極めて多事多難な年でありました。我々は、21世紀という新しい時代を迎え、大いなる希望を掲げながら邁進してまいりましたが、立ちは大なる困難がより高く険しいものであったと言わざるを得ません。

その中であつて、我々青森県の誇りとする日本海の浜に、この春、タイヤブリの水揚げがあり、タイについては10万箱に近い30数年来の大漁とも言われております。最近はいかの水揚げも近年に無く好漁であり、5～10倍の水揚げを得ております。海の力、海の幸に深く感謝すると共に海を守り漁場をつくるという我々の気構えを決して失つてはいけないと思ひます。

海を守る話では、昨年、十三湖のゴミ処理場の問題がありました。ゴミ処理施設の計画は撤回するという書面が、五所川原市長より届いておりまして、大きな安堵を感じているところであります。

本年度に入つての一番大きな問題としては、大戸瀬漁協周辺に墜落したF16米軍機の問題でございます。このことにつきま

しては、地元漁協関係者の皆様方のご心労とこれに関する対策について十分承知しておりますので、心からお見舞いを申し上げますと共に、今後、各方面に要請活動してまいり、青森県漁連も全面的にバックアップをし、後遺症が残らないように全力で取り組んでまいります。

むつ湾のほたてにおいては、一時90億円を下回つた水揚げ金額が、共済制度加入とむつ湾漁業振興会の組合長全員による厳しい指導により、本年は最高の歩留まりを示すまで回復しました。

本年の県漁連の方針といたしましては、ここに掲げている通り、資源の回復を第一に挙げております。資源回復無きところに21世紀のすばらしい漁村を論じても空虚なものとなるのではと考えるからです。つくり育て、増やす漁業において、藻場・干潟の造成というものは国際的な国家的な政策でありながら青森県沿岸域は裸の状態になっているのです。決して沿岸漁業以外の漁業を排除する考え方ではなく、資源を育て、増やし、獲るといふ全体の流れの中で、ど



挨拶を述べる植村県漁連会長



来賓祝辞を述べる木村県知事



議長を務める川端尻芳漁協組合長



総会風景

のような秩序ある漁獲方法を構築できるかを、今こそ我々は真剣に考えて行かなければならないと思います。このために障害となっているものがあるとすれば、これを排除して行くための漁業者が力を結集しなければなりません。資源管理という立場に立つて持続可能な漁業を築き上げる必要があるのです。これこそが、真の意味で資源管理型漁業という資源回復のための原点であると考えます。

今ひとつに、浜の金融問題があります。既に皆さんご承知の通り、まさかと思われるような事態が本県にも起こりました。幸い、皆さんの大きな力を結集して、10億円の出資金を募りました。また、41億円の借入金も投入して、15ケ年で回復させる計画も、皆さんのご承認を得て進められています。しかし、その陰には、木村県知事の遠大な深いご理解が、我々の根底にあるということをお忘れてはなりません。15ケ年という長い年月の中で、約束通りの結果をも出して行かなければなりません。また、個々の漁協は大丈夫なのか。漁業者の金融に対する姿勢はどうなのか。「魚が無いかから資金がない」という考え方は、これからの浜の金融は成り立ちません。近代社会

において、金融とは不可欠な要素であり、国際的な金融マニュアルにより管理されている訳ではありますが、「魚が捕れなければどうする」、「金を貸さなくてどうする」という古い概念では無く、秩序ある金融マニュアルに我々は共鳴し、馴染んで、漁業者自らが意識改革をし、循環性の高い金融システムを構築する必要があるのです。

そして、何よりも我々に必要なのは、浜の元気ではないでしょうか。冒頭申し上げたように、10万箱のタイが浜を賑わせた。この現実に対し、自然は一定の加護を加えると我々に恵みを与えてくれるのではないのかという希望を持ち続け、努力すれば必ず報われるという意気込み無くして漁業は成り立たないと思いますので、浜の元気を出して行こうと思っています。元気は海の特許ですから、元気を出して大いに張りたいです。そして、明るい漁村づくりに一層邁進していただきたいと思えます。

また、地方の時代の核となる産業は漁業であると信じておりますので、21世紀の国民の食料を生産して行くという使命を我々の胸に力強く刻み、美しい漁村づくりのために邁進しようではありませんか。

## 青森県漁協専務参事会

# 「平成13年度通常総会・研修会」開催

青森県漁協専務参事会の通常総会が6月6日青森市

浅虫「柳の湯」で開催された。



塩谷部長

冒頭、川村隆会長（小田野沢漁協）が挨拶、来賓として青森県農林水産部長谷川部長（団体経営改善課、岩谷総括副参事代読）と、青森県漁連植村会長（後藤専務代読）より祝辞を頂いた後、議長に三厩村漁協の岡本参事を選出、その後議事に入り全議案満場一致で承認可決された。



川村会長

なお、総会前に表彰式が行なわれ、尻屋漁協 住吉豊前参事と深浦漁協 高橋

義信前参事の2名が本会の発展及び永年の協同組合運動に顕著な功労があったとして表彰された。

また研修会では、最初に(財)青森地域社会研究所の高村雅憲産業調査部長より「国内、県内の金融情報について」又、青森中央水産(株)の塩谷康之助流通企画部長より「水産物流通の現況について」と題して、それぞれ講演がなされた。

なお、総会終了後、事務局より平成14年度「東北北海道漁協専務参事懇談会」を8月29日と30日、三沢市の「古牧温泉」で開催するため、参加と協力の要請報告があつた。



総会風景

# ● ● 青森県漁連人事異動 ● ●

## 1.昇進(平成14年6月1日付)

氏名	新	旧
佐藤 義弘	事業部長	事業部次長
白戸 文昭	事業部次長 事業部 製氷冷凍工場課長事務取扱	事業部 製氷冷凍工場課長

## 2.異動(平成14年6月1日付)

氏名	新	旧
葛西 光信	総務部次長 総務部 経営改善室長事務取扱 総務部 経理債権管理課長事務取扱	総務部次長 総務部 経営債権管理課長事務取扱
小出 政明	指導部 指導課長	総務部 経営改善室長
上坂 幸雄	業務部 購買課長代理	指導部 指導課長代理
梅田 春栄	総務部 経営改善室長代理	業務部 購買課長代理

# 深浦千畳敷海岸に戦闘機墜落

平成14年4月15日 午前11時 三沢基地

所属の米軍F16戦闘機が深浦町千畳敷海岸沖合七〇〇m付近海上に墜落した。

事故当時、パイロットはパラシュウトで脱出したが、風速20m、波の高さ3mという悪天候の中、パイロット救出のため、大戸瀬漁協組合員が懸命の捜索により無事救出した。

墜落海域は日本海でも有数の好漁場であり、底建網、

小型定置、大型定置等網漁業の銀座と言われるほど込み合っている漁場である。

「これが操業中の事故だとしたら……不幸中の幸いだっ



機体回収作業中の救難艦「セーフガード」

たのか。

事故調査が米軍により4月末までおこなわれた。

しかし、漁業者は早期漁場回復を願っていたが、進展の見えない調査活動にイライラがつっていた。

5月の連休が明けてから機体回収に係る米軍との協議が幾度もおこなわれた。

安全性を重視する米軍の要請により、機体回収区域は墜落した期待を中心に、海岸に平行して36キロ、幅18キロの範囲で網の撤去区域に定められた。

これにより、底建網106ヶ統・小型定置2ヶ統・大型定置1ヶ統を撤去することとなった。

網の撤去は5月21日から始まった。近年にないマダイ豊漁にぎわう近隣漁協の状況に、いらだちを感じながら網揚げ作業に入ったが、すでに大戸瀬沿岸にもタイの魚群は来ていて、漁業者の悔しさは一層募るものだった。

(写真右下)



5月21日網の撤去の際、頂獲されたタイ（大型定置）

網の撤去が終了すると同時に、米軍による機体の散乱状況調査、機体回収船セーフガードによる回収という順で作業が進み、95%が回収された。

6月11日から網の設置作業が始まり、底建網・小型定置網は6月23日ようやく設置完了し、操業できる状態となった。しかし大型定置については大規模なこともあり、操業には目途がたない状況にある。

補償交渉は行われているが、現在補償に係る証拠および根拠となる資料等の作成作業が急ピッチで行われている。

# 漁業補償早期解決に向けて陳情

F16戦闘機事故に係る漁業補償早期解決に向けて

去る六月二十四日、防衛施設局並びに仙台防衛施設局へ、墜落事故の原因究明、再発防止の徹底、漁業補償の早期解決等について青森県漁業協同組合連合会と青森県漁業経営安定対策本部の連名で陳情を行った。

陳情者は植村県漁連会長・古川信漁連会長・西崎県漁連副会長・新保県漁連常務の四名で、陳情先は次のとおりである。

陳情先

六月二十四日

仙台防衛施設局（仙台）

防衛施設局（東京）

防衛施設局業務部長

防衛施設局長官

防衛政務官

木村政務官との陳情において

植村会長

政務官の早急な対応に感謝の意を表明します。

漁の盛漁期に網を撤去しなければならぬという事は、漁業者の生活に影響を与えている。漁業者の不安を取り除くためにも早急な解決（漁業補償）をしていただきたい。

古川会長

悪天候で通常は出漁しない状況での人命救助であった。

組合側としては施設局に全面協力する体制であり、補償については十分な配慮をお願いしたい。

一枚岩といわれるほど、まとまりのある大戸瀬漁協が、補償という金銭がらみによって崩れつつある。補償交渉が早急に行われ、こじれないように配慮してもらいたい。

西崎副会長

今年には三十数年来のタイの豊漁年。その時期に網の撤去は、漁師にとつてはつらいことである。

このような事故はあってはならない事故です。漁業者には誠意をもつて対応していただきたい。我々も組織をあげて支援するつもりである。

木村政務官

事故発生時のパイロット救出には感謝いたします。

青森県・深浦には地元の想いがあり、施設局にも早急に対応するよう指示している。機体回収についても二次災害がなくてよかったですと思っています。

早く漁網が設置できるよう県の農



「木村政務官に陳情する一行」

林水産部にも働きかけ、一日も早く漁業者の生活が回復すること、早期な補償の支払がなされるようにしなければならぬ。植村会長、古川会長、西崎副会長には行政と漁業者のパイプ役になっていただきたい。

以上のようなやり取りの中で、陳情書が手渡された。

# 漁業振興対策に係る陳情

去る6月17日、漁業情勢が依然として厳しさを増す中、漁業4団体は緊急対策として木村県知事に対し陳情を行った。

これに対し、木村知事は漁業関係者の心情はよく理解できる。問題の早期解決に向けて前向きに取り組んで行くことを陳情者へ伝えた。

(陳情内容は次のとおり)

## 1. 資源管理型漁業の推進について

漁業・水産業が国民食料産業の担い手として、永続的に発展していくため、持続的利用可能な漁業資源の管理・保全体制の確立が喫緊の課題となっていることから、その打開に向け有効な施策を講じていただきたい。

## 2. 米軍F16戦闘機墜落事故について

事故原因の早期究明に努め、事故の再発防止の徹底を図ると共に、事故による漁業被害の補償については、被害に遭われた地元漁業者の心情を十分斟酌し、誠意をもって解決に当たられるよう関係者に対し要望して参りますので、ご尽力・お力添えをいただきたい。

## 3. ホタテ漁業振興対策について

① EU向けオタテガイ輸出促進について  
平成4年度EUによる日本産ホタテガイの輸入禁止措置発令以来、我が国においては輸出解禁に向けて関係者が一丸となり様々な努力を致して参りました。

こうした中、昨年9月にはEU査察団が来青し、本県のホタテ漁業の現状について視察調査を受け、EUへの輸出解禁に向けて進みつつあるが、まだ認められていないのが現状であります。

以上のようなことから、EU向けホタテガイ輸出促進について特段の措置を講じていただきたい。

### ② 機器分析の導入促進について

現在、貝毒の検査法は世界のほとんどの国でマウス法が採用されている。マウス法は検査に長い時間を必要とし、出荷規制・解除への迅速な対応が困難である。

近年、マウス法に代わる方法として、高精度化を目的とする機器分析の研究が多くの化学者の間で進められており、精度面や迅速性を考慮すると今後機器分析法による検査が必須になると予想されることから、貝毒検査における機器分析方法が導入されるよう早急な対応を講じていただきたい。

### ③ 下痢性貝毒の規制の見直しについて

我が国における下痢性貝毒は、3種類(OA群、DTX、YTX)に大別されるが、

現在行われているマウスを用いた検査方法では、3種類の毒成分が同等に評価される。これらの事象及び種々の生化学的知見に基づいて、EUで貝毒の規制値の見直しが行われた。

したがって、我国においても規制値の見直しが検討されるよう措置を講じていただきたい。

### ●陳情者

青森県漁業協同組合連合会  
代表理事会長 植村 正治

青森県漁業経営安定対策本部  
本部長 植村 正治

むつ湾漁業振興会  
会長 三津谷廣明

青森県ほたて流通振興協会  
会長理事 植村 正治



漁業振興対策に係る陳情



主催者の挨拶を述べる三津谷会長

本県の基幹産業であるむつ湾ホタテを広く県内外にPRして、ホタテの消費拡大を図ることを目的に、平成十一年度に毎年六月十八日を「ホタテの日」と制定した。

六月がホタテの日に制定されたのは、むつ湾のホタテが最も美味しい時期であることとホタテの生産量が一年間で

# 「ホタテの日」記念イベント開催

最も多いことから六月とした。制定四年目を迎えた今年は十八日が火曜日ということもあり、市民が足を運びやすいようにと十六日（日曜日）に行われ、このたび青森市アスパム前においてホタテの記念イベントが盛大に開催され、大勢の市民や家族連れでにぎわった。

開催に先立ち、むつ湾漁業振興会三津谷会長は「漁業者が大切に育てたむつ湾ホタテは今が一番美味しい、じつくりと味わって下さい」と挨拶し、午前十時から正午まで二時間にわたりイベントが開催された。

今年のイベントの内容は、先着一、五〇〇名にポイルホタテの無料配布、県内十二市町村の高齢者福祉施設への無料配布、更には来場者にホタテ貝焼きの試食を行った。

その他、会場ではホタテ製品の即売やホタテ貝むき競争が行われ、主婦や子供達が多く参加していた。



ホタテ貝むき競争



ホタテの無料配布に参列する一般市民

# 主な水産に関する動き

## 四月

十五日(月)

- ・米軍機墜落による大戸瀬漁業被害  
(深浦町)

五日(水)

- ・青森県漁場監視団体連合会通常総会  
(青森市)

六日(木)

- ・青森県漁協専務参事会通常総会・研修会  
(青森市)

八日(土)

- ・第五十三回青森県植樹祭  
(天間林村)

十一日(火)

- ・青森県漁船保険組合総代会  
(青森市)

二十七日(月)

- ・青森県小型いか釣漁業協議会通常総会  
(青森市)

- ・(社)青森県水産振興会通常総会  
(青森市)

- ・(社)青森県沿岸漁場開発協会通常総会  
(青森市)

## 六月

三日(月)

- ・青森県漁業環境保全振興協会通常総会  
(青森市)

十六日(日)

- ・「ホタテの日」記念イベント  
(青森市)

十四日(金)

- ・青森県漁業信用基金協会通常総会  
(青森市)

二十五日(火)

- ・全国漁業協同組合連合会通常総会  
(東京都)

二十七日(木)

- ・むつ湾漁業青色申告会連合会通常総会・研修会  
(青森市)

- ・(社)青森県漁協経営安定対策協会通常総会  
(青森市)

二十四日(月)

- ・F 16 戦闘機墜落に係る陳情  
(宮城県・東京都)

- ・全国共済水産業協同組合連合会青森県事務所通常総会  
(青森市)

二十一日(金)

- ・青森県信用漁業協同組合連合会通常総会  
(青森市)

- ・青森県漁業共済組合通常総会  
(青森市)

# 県内漁協職員紹介

## ◆ 下前漁協 ◆

### 下前漁協職員プロフィール

1. 氏名 2. 担当業務 3. 趣味・特技 4. 自己PR

1. 永坂 富士男
2. 信用部・会計主任
3. 読書
4. 薄くせ帯く女好き、パチンコはやらない  
寝も金もなし、妻をめぐって、やせ  
る一方、いずれ消えてはくるとの声も。



1. 今 初則
2. 総務課長
3. 栽培(野菜づくり)  
テレビ鑑賞(スポーツ)
4. 顔は黒く頭の毛が  
薄く白髪



1. 成田 金春
2. 販売課長
3. 映画鑑賞
4. 壮而学老不衰  
いつの間にか、白髪  
満開である。



1. 磯野 明雄
2. 庶務課長
3. なし
4. 只今、パソコンと格闘中



1. 内海 俊美
2. 製氷課長
3. なし
4. 早寝、早起き



1. 今 行雄
2. 購買課長
3. 卓球
4. 小学校へ行って、部活の卓球を  
教えている。一人娘と卓球の試  
合をする事が最近の楽しみです。



1. 和田 信之
2. 製氷課係長
3. 暴飲暴食
4. 子供3人全員男なの  
で4人目は女の子が  
欲しい。



1. 白岩 静
2. 販売係
3. パチスロ
4. 時間と金がほしい!



1. 角田 満美
2. 販売係
3. 酒なら何でも
4. 誰か二日酔いが一発  
で直る方法しりません  
か?



1. 角田 真樹
2. 信用課共済係
3. 温泉
4. 県内漁協職員の皆さん  
(俺が真樹だ。)



1. 藪田 智也
2. 購買係
3. スノーボード、サッカー、etc
4. 漁協で1番若い20代  
前半独身の藪田です。  
よろしく



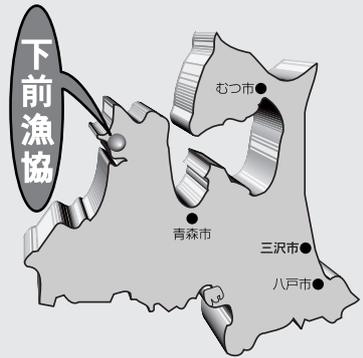
1. 宮下 恵美子
2. 信用部
3. 読書
4. 子供にもまれても、もま  
れても年々たくましく  
なる私です。



1. 藪田 由比子
2. 信用部
3. 食へること、寝ることしやべること
4. 週1回、リンスカーカへ行っている。  
でも…やせない、週に1回はさかいソラ  
もやっている。でも…やせない。



1. 磯野 弘子
2. 販売課・精算係
3. お華
4. どこにいても目立って  
しまう?(大きすぎて)



小泊村は、津軽半島の北西部に位置しており、総面積六千四百ha、人口四千二百人の漁業と観光に力を入れている村です。

漁業では、マイカ、メバル漁が主力となっており、特に小泊沖で水揚げされたメバルは、「海峡メバル」というブランドで中央では引く手あまたの高級魚として有名です。

また、観光では権現崎、七つ滝、竜飛ライン等の小泊十二景、レジャー施設のマリンピア小泊等、一年を通じ多くの観光客が訪れます。

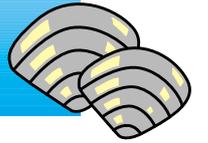
今回は、小泊村の南方に位置している下前漁協の皆さんを紹介致します。





# 十三湖大和しじみ

4月6日共販開始



入札風景



仙台市中央卸売市場(仙都魚類)での販売風景

「しじみ貝と言えば十三湖」、「十三湖と言えばしじみ貝」。  
 すっかりブランド定着した十三漁協におけるしじみ貝が、去る4月6日  
 入札分から県漁連共販となりました。鮮魚類は昨年12月から共販が開始  
 されておりますので、しじみ貝が加わったことでほぼ全面共販となつた  
 こととなります。

十三漁協では、より一層のPRと衛生管理の向上を図るため、スノコ  
 (直置きをしない)と1tタンク(夏期における鮮度保持)を購入する  
 と共に、PL法対策(産地表示)としてラベルを製作し、全国ブランド  
 に磨きをかけています。さらに、7月11日には工藤組合長を先頭に役員、  
 女性部他17名が仙台市場において、美味さが増す土用しじみをPRして  
 きました。量販店では安価な中国産が多く出回っておりますが、味では  
 十三湖産には敵いません。今夜の夕食には是非、十三湖産しじみ貝をご  
 賞味下さい。



PL法対策(産地表示)のラベル

平成14年8月20日発行

◆発行◆

青森県漁業協同組合連合会

青森市安方一丁目1番地32号 TEL 017-722-4211(代)

◆印刷◆

不二印刷工業(株) TEL 017-741-5439